# 婦人と新社會

山田わか主筆

## 五月號

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
昭和二年四月二十三日印刷納本

自由の制限と健康
現代社會思想と婦人問題
一般婦人の思考力
女子教育家及び宗教家へ
偏狹なる婦人運動者
婦人論者と社會主義者
經濟的環境と心理的環境
經濟問題と社會學者
經濟　知力　道德
受驗地獄からの活路
——編輯の後——

毎月一回一日發行　第八十六號　昭和二年五月一日發行

東京　婦人と新社會　發行

# 自由の制限と健康

如何なる政治學者も、この二十世紀に於て、個人の自由が制限されるなどゝは考へもしなかつたであらう。何となれば、今日迄の政治思想の發達とは個人の政治的自由を一歩々々と延長することであつたのであるから。

けれども、その神聖視された個人の政治上の自由を制限するの事實が歐州には實現した。たとへばイタリーのように、イタリーとムッソリニはその好適例である。

始めは、少數黨のそのやり方に對して全體としての國民は好感を持つてゐなかつたが、後には追々と贊成されるようになつて、その制限政治はツイに一大勢力となつた。

そして、これは止むを得ないことである。醫者が病人の自由行動を制限すれば、制限される方では不愉快であらうけれど、健康のためには止むを得ないと同じく、個人の自由の制限も國家の健康のためには止むを得ないのである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 現代社會思想と婦人問題

## 一般婦人の思考力

女性の知能の發達とか、又は、女性の位置の向上とか云ふことに付ては可なり眞險に論じられて居ますし、又そのために努力して居る人々も少なくないのですが、併し、一般婦人のうちにはさう云ふことに全然無關心で居る人々が餘りに多いようです。一部の有識な婦人が、婦人に對する世間の偏見、又は、男子の狹量と云ふようなことに付て悲痛な叫びを擧げてゐても、併し、さうした婦人の努力を全然踏みにじるような行爲をして平氣でゐる婦人の數が世間には餘まりに多いようです。

そして、一般婦人がさう云ふ風に無自覺でゐると云ふのは、煩雜な家事育事に囚はれてしまつてゐるから、自分の家庭以外の事柄に心を向けてゐる餘裕が無いのだと云ふように一部の有識者は考へて居りますが、そして、それも事實ですが、併し、私はもう一ツの事實をそれに附け加へようと思ひます。

即ち、圓滿な家庭を持つことが出來た婦人は夫と子供の愛にひたり過ぎてしまつて他を顧みる餘裕をその心に持ちません。自分と夫との間は圓滿であるし、可愛い子供はあるし、と云ふ自己滿足で心が一杯になつてしまつて、現在の婦人の位置がどうであらうが、一般婦人がどんなにみじめな生活を送つて居ようが全然無關心でゐるのです。

その外、夫の品行がよろしくないために或は又その外の理由で家庭に平和が無く煩悶があるために心に餘裕のない婦人達も澤山ありませう



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が、とにかく、自分の生活が圓滿であつても圓滿でなくても、一般婦人がもう少し今の女性の位置と云ふことに付て考へて欲しいと思ひますそして、この、たゞ、目の前のことにのみ心の全部を奪はれてしまつて他を顧みる餘裕を持たないと云ふのは、考へると云ふ習慣を今迄婦人が持たなかつたからであると思ひます。

考へて見ると云ふ習慣を持つてゐるならばたとへ、手足は子供や家庭の仕事に縛ばられてゐても頭は自由に働きます。又、現在の自分の生活が幸福でなければない程、婦人の位置と云ふことに付て考へ深くなる筈です。

いづれにしろ、一般婦人の心がもう少し大きくなつて、自分自身のこと、又は、自分の家庭のことばかりに心の全部を奪はれずに、一般婦人の生活に付て、自分の家庭と同じく他人の家庭に付ても考へるようにならなければ、女性の位置の向上のために働いてゐる一部の人達の努力の効果が充分には現れません。そして、今迄の婦人が考へて見ると云ふ習慣を持たないのはさう云ふ習慣を持つやうに幼少の頃から育てられてゐないからです。ですから、今のお母さん達は大いにこの點に注意をしてお子さん達の教育に當らなければならないと思ひます。



## 女子教育家及び宗教家へ

それは、とにかく、今日女性の向上を目的として働いてゐる人達をそれ〲の方面によつて分けて見ますと、最も數の多いのは女子教育にたづさはつてゐる人々で、その次は恐らく宗教團體の人々でありせう。

それから、さう云ふ教育的又は宗教的立場とは全然別に女性の位置の向上のために働いてゐる婦人團體は、今の處では東京には婦人參政權獲得を目的としてゐる團體と、勞働乃至職業婦

人の位置の擁護と向上とを目的として働いてゐる團體とであります。

そして、今、此處で、女性の進歩向上を心から希つてゐる者の一人として私が女子教育家の方達に希望したい點は、女子の思考力、つまり考へる力と云ふことに付て考慮されたいと云ふことです。今迄の女子の教育は――男子の方もさうですが――余まりに結め込み主義では無かつたでせうか。

知識を又は技術をたゞ詰め込むと云ふだけであつて、女子が自發的に頭をどの位働かすかと云ふ點が全然等閑にされてあるようです。そして、これは、成り上り者の馬鹿な親が子供の言葉使ひやみなりにだけ注意してゐて、つまり、言葉やみなりさへキレイならば其れで人間が上品であるように考へて、子供の心の傾向には無關心であるのと五十歩百歩であるように考へられます。

それから、宗教團體の人々は、宗教の精神を少青年女子に注入して女子の人格向上を計ろうとして居られるのですが、私が此處で御注意申上げたいことは、今の世の中では、唯、宗教的精神がゆたかであると云ふことでけでは足りないと云ふことです。

「單に火のような熱心があつても、只佛や神の言葉を繰返すだけでは何等の力がない。又、單に、同胞愛や人道を説教しても何の解決にもならない。今日私共が神や佛の言葉を引くならばその言葉は經濟的及び社會的の法則を含んだ言葉でなくてはならない」と前號にも書いて置きました。

## 偏狹なる婦人運動者

婦人參政權獲得運動に付て一言云つて置かうと思ひますが、婦人の參政權が善いとか惡いと

か、適當であるとか無いとか云ふような議論の餘地はもう今日では無くなつてゐます。婦人參政權は理論の上では既でに充分に認められてゐるのですが、唯、男子政治家の偏狹がこれを妨げてゐるだけです。婦人參政案が今年の議會でもどのように虐待されたかは皆樣が御承知の通りです。

次には勞動乃至職業婦人の位置の擁護と向上とを目的としてゐる人達の主張、又は、運動に付て申上げなければなりませんが、今、この方面に立つてゐる人達は純然たる社會主義者か又は、社會主義的の思想を抱いてゐる人々であります。

婦人の屋外勞働、又は、職業が善くても惡くても、つまり、それに對する理論は何であれ、今日の社會の實際狀態が彼女達を働かしめてゐるのですから、彼女達の位置の擁護と向上のために或ることを主張したり、又は、その主張を貫徹するために運動を起されることに對しては私も同性の一人として感謝の念を惜しまないものでありますが、唯、一ツ遺憾なことは、此の方面の人達が餘りに無產階級以外の階級を呪ひ毒舌を敢へてたくましくしてゐることです。

無產階級と云へば、私自身も純粹な無產者であつて、仕事の手を止めれば其の瞬間に直ぐ食へなくなると云ふような生活狀態でありますが併し、私は金に換算できる仕事以外に重要な仕事が人間にはあることを認めて、云ひかへれば金にはならないが、併し、金を取るよりも重要な仕事を一般婦人はしてゐると云ふことを高調致しますので、彼等社會主義者側の人達は、私がブルジョアでゞもあるかのように、又は、有閑階級の人間でゞもあるかのように誤解して居ります。

私は無產者の一人として、一日働かなければ一日食はずに居なければならない位置にある人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

間として、勞働階級が國民生活のために如何に重要であらうかと云ふことを高調します。勞働階級を擁護しようとする熱心さは誰にも劣つてゐないつもりです。

同時に、私は、知力階級には知力を、資本家階級には資本を、正しく運用することを要求します。

こんな小さな日本國内で、やれプロレテリアだのブルジョアだの其の外何だのとわざ／＼階級別を造つて相爭ふ必要を私は認めません。皆がよくなるようにしなければならないと思つてゐます。

唯、爭はなければならないのは、その、皆がよくなることを妨げてゐるような人々に對してゞす。そして、さう云ふ惡い人は資本家のうちにもあるかも知れない。知力階級のうちにもあるかも知れない。又、勞働階級のうちにもあるかも知れません。

つまり、國民のうちの惡分子に對してこそ私共は大いに戰ふ必要がありますが、併し、小さい國の内部へ妙に狹い境線を造つて、わざ／＼敵と味方のようなものを造る必要は少しもないと私は思ふのです。

勞動婦人乃至職業婦人の問題のみが婦人問題であつて、そして、それ等の婦人のための運動のみが本當の婦人運動であると云ふ社會主義一派の婦人論を偏狹なる婦人論、女性全般の問題を容るゝに足りない婦人論だと私が斷定したのはすでに久しい以前です。

## 婦人論者と社會主義者

婦人問題が起つて以來、極く最近まで婦人解放の唯一の基礎條件として、婦人の經濟上の獨立が要求されて居りました。婦人に經濟上の力が無いために婦人は男子に對して頭が上がらな

いし、社會上の位置も劣等であつた。であるから、婦人は何を置いても經濟的の力を獲得しなければならないと考へられてあつたのです。

そして、この婦人解放の基礎を經濟に置く婦人論は、一切のもの丶基礎を經濟に置く社會主義の思想と其の基調が同一であります。そして今日の社會に於いて、最も優勢な理論は社會の進歩は經濟狀態によると云ふ理論でありますが成程、この經濟條件は私共の進歩のために大事なものには違ひないですが併しこれは單に條件であつて社會進歩乃至は幸福の原因ではありません。つまり、植物にたとへるなら其の根ではなく肥料です。にも拘らず、この經濟に重きを置く社會主義的の思想は私が云ふまでもなく、生活資料を生産する方法が社會的、政治的、及び、精神的生活を一般に決定すると云つて居ります。

私共人間が生きて行くに必要な生活資料が生産され、そして、分配される方法が一般社會生活の理想と標準とを結局決定すると云ふのです

たとへば、政府も、法律も、宗教も、道徳も唯、經濟狀態から生れ出た、經濟の上に乘つかつてゐるものだと云ふのです。故に、政府も法律も宗教も道德も經濟狀態の變化と共に變つて行くものだと云ひ、社會の進歩は、生活を得る方法、即ち、富を造り、富を分配する方法によつて決定せられると云ひます。

そして、この學說がマルクス及び彼の一派の人々によつて社會革命の道具とされてゐるのですが、こう云ふ風に何もかもを經濟の上に乘せて見てゐる社會主義の思想と、婦人の進歩向上を婦人の經濟上の獨立と云ふ基礎の上に打ち立てようと考へてゐた婦人論とは全く同一樣の考へ方であつたのです。

社會主義者が、國民の經濟狀態さへ正しく整理すれば他の社會狀態の一切は自然に正しくな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて來る。一般の經濟狀態がゆたかになれば、一般の進歩は自から生れて來ると云ふのは、丁度、婦人に經濟上の獨立さへあれば、男子に頭を下げる必要も、社會から束縛を受ける必要もない。そして、婦人は自由であり、幸福であり進歩的であり得ると考へるのと同じであります

そして、多少、婦人論に耳を傾けてゐるような婦人は、この婦人論を無條件に受け容れて職業へと走り、そして、一般民衆はこの社會主義の思想を無批判的に信じるようになりました。

## 經濟的環境と心理的環境

一般民衆よりはより多く批判的である科學的の思想家ですら、此の考へ方に一致してゐる向きがあります。つまり、人間の幸福と進歩は物質的の環境に自分を調節することであると云ひそして、その環境とは經濟環境のことであります。

云ひかへれば、今日の產業組織や技術が環境であつて、人は此の環境に順應して行かなければならないと云ふのです。そして、これは、元始時代の人間が彼等の地理學上の環境に支配されてゐたのと同じように、今日の人間は經濟的の環境に支配されてゐると云ふ見方であります

一言で云へば、經濟的即ち產業的組織が今日の文明の鐵骨であると云ふのですが、勿論經濟的要素が私共の幸福と進歩に多大の影響があることは誰でもが認めなければならないのですが併し、私共現代人の生活の凡てが經濟的事情によつてのみ支配されてゐると老へるのは餘まりに人間の心理的要素を無視したものだと私は考へます。

私は、私共人間の幸福と進歩に經濟が重要なる要素であることを認めると同時に、猶、それよりも重要な要素があることを見逃すことがで

きません。

社會主義的思想の政府も、法律も、宗教も、道德も經濟の上に乘ッかつてゐると云ふ考へ方は、人間を餘まりに受動的に見てゐて、人間を活動的又は創造的のものとして見て居りません人間の心の働き、即ち、推理する力、想像する力、ものを組織したり、建設したりする傾向を人間が持つてゐることが全く除外されてあります。

云ひかへれば、社會學から見て社會主義の理論は甚だ不完全であります。

私共社會人としての理想と、行爲の標準の最も重要な源は經濟狀態ではなくて、人と人との相互關係であると私は信じます。

つまり、社會理想の源は經濟的ではなく、人格的であり、社會的であると私は信ずるのです

私共の第一の理想の源は第一の集團の生活即ち家庭生活にあると私は信じます。

家族とか、村とか、云ふ生活は產業發達の凡ての時代を通じて、又、至る處に存在してゐました。そして、この家族、村、と云ふ團體が特種の產業組織よりは遙かに多くの社會生活の理想と標準とを決定してゐます。

云ひかへれば、社會主義の思想は第一に調節しなければならないものは人とものとの調節であると考へてゐるに反して、實際は人と人との調節がより重要なのであります。經濟的乃至產業的の環境よりも全體としての心理的、社會的環境に調和することがより重要なのです。

## 經濟問題と社會學者

もし、社會主義の思想が本當だとすれば、物質の文化が言語や宗教や道德よりも先きに發達してゐた筈です。

が、事實は、言語、宗教、道德と云ふような

精神的文化が物質的、技術的の組織よりもズット以前に發達してゐたと云ふ事實は人類學が明瞭すぎる程明瞭に證明してゐます。

いろ〳〵の種類の文化は技術又は產業には無關係に變化してゐることを歷史は示してゐます世界の歷史に於て、多くの國民の道德的、宗教的、藝術的、又は、科學的觀念は產業組織の變化とは無關係に變化して來たものであります。

で、私共がこれ等の事實から當然ひくことができる科學的の結論は、社會主義者や今迄の婦人論者の間に流行してゐた考へ、即ち、私共人間の觀念や標準や行ひは經濟狀態の必然の反映ではなく、社會的の傳統、云ひ直せば、心理的社會的環境に其の說明を求めなければならないのです。

この點に付て、云ひたいことは澤山ありますが、これを一言で申ますなら、經濟的要素は、私共の幸福と進步のためのたゞ一ッの要素であつて、社會主義者や今迄の婦人論者の考へてゐるように其れが全部ではないのです。

たとへば、經濟的の變化又は繁榮を來す前には發明或ひは發見と云ふ過程が必要であるように。

ですから、私共の幸福と進步の本當の動力となつてゐるものは、個人のうちに又は集團生活のうちにあるのであつて、有形な物質的環境のうちにばかりあるのではないと私は考へます。

とは申ましても、前にも云つた通り、經濟狀態が私共に何等の影響を及ぼさないと云ふのではありません。經濟狀態が今日の文明の重要なる一ッの條件であると云ふことは充分に認めなければなりません。文明が進めば進む程、經濟的條件が必要になつて行きます。

ですから、社會學者も社會心理學者も、今日の社會に於て、經濟的正義を確立しようとする凡ての社會改革には心から贊成してゐます。各



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

個人の生理的知力的及び道德的の發達を妨げるような經濟的不平等を取り去ろうとする企てには誰でも賛成せずには居られません。正しい生活をするために、最大限度の能率をあげるために必要な經濟條件を凡ての人が持ち得るように官民こぞつて努力しなければならないことは勿論です。

社會學者は、無產階級の人々の病氣、怪我、失業、老年、と云ふ場合に備へるための强制保險や、その他のあらゆる勞働者保護のための立法の運動には、皆、賛成してゐます。

社會主義者は貧乏を除去するためにともすれば、社會革命を云々するのでありますが、併し、最近までの例によればこの社會革命なるものは人の病氣を癒やさうとして、その病氣を癒やさず、否、却つて、病氣を癒すに至らずして人を殺すものであつたことが立證されて居ります。

## 經濟・知力・道德

經濟條件が必要缺くべからざるものであることは勿論です。けれども、その必要を認めると同時に、經濟條件が私共の生活の全部ではない人間には精神の力があると云ふことを私は此處に云ひたいのです。

もう一度繰り返して申ますが、物質的、云ひ直せば、經濟的要素は私共の幸福と進步に無くてならない要素であるに相違ありませんが、併し、それが全部ではない。私共の生活の經濟上の狀態が適當に調節されても、そこにはまだ知力上の及び道德上の調節と云ふ大事な仕事が殘つてゐます。私共が本當に幸福な進步的な生活を送ろうとすれば、經濟的の進步に精神的の進步が並行してゐなければなりません。

經濟的進步にのみ重きを置く議論又は運動が

危険視される理由は、これが經濟的要素よりも一層重要な精神的要素を無視してゐるからです經濟的要素を餘まりに重要視することが精神的要素の重要さを無視するようになりました。そして、これが非常な不幸であります。

## 受驗地獄からの活路

入學試驗といふものは元來資格試驗でありました。定められた課程をふむ資格のないものが入學しては困ろからその資格ありやなしやを試驗するのでした。そして、入學希望者と學校の數とがほゞ平均してゐる間は何等の不都合がなかつたが、入學希望者が非常な勢ひで年々增加するのに、その割りに學校を增設することはできない、そこで、百人しか收容力のない學校に千人以上も押しかける。學校側では何とか制限法をまうければならない。そして。資格試驗は變じて選拔試驗となりました。競技候補者の選拔と同じことになり自信ある候補者ですら、選拔される機會は少ない。ですから、一般候補者にとつて苦しいのは當然です。先生でさへ頭をひねるやうな難問題が造り上げられ少青年に課せられる。一見、まことに不合理極まるように思はれるが、しかし、餘分な受驗生をふるひ落とす手段としては止むを得ない。從つて、受驗者の苦惱親の心配は大したもの、試驗地獄敎育地獄といふ言葉が發明されたのも又宜べたりであります。

○

この狀態に對し、或る論者は「試驗制度全廢」を主張されますが、しかし、試驗制度を全廢しても百人しか收容力のない學校へ千人が入學できません。のみならず、入學する學校の課程をふむ資格のないものが入學しても効果はあがらないし、又、それが人間生れつ



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

きの個情性を擁護することになつてそれこそ教育の本義にそむくことになります。

次には「學校を殖やせ」といふ意見ですが、しかしかりは現在の希望者の全部を容るに足るだけ增設してもそれは一時的の救濟で數年たゝないうちに不足を告げるやうになるのは明らかです。

それからもう一つは『學校を出たといふことを尊重し過ぎる。それより自力でどれだけの仕事をやつたかといふことを認めるやうな道を開け』といふ意見でありますが、こゝに三ツの意見のうちで私はこの最後の意見に賛成します。

つまり、猫も杓子も中等以上の教育を受けなければならないやうに考へてゐるこの學校萬能的な考へ方が一變しない以上は、この問題の眞の解決には到達することはできないと私は考へるのです。

○

今日の文明國と稱せられる國々は殆ど例外なく、產業を生命としてゐます。そして全國の共同一致といふことが何物よりも必要となつてゐます。從つて、有益な國民とは產業的乃至工業的能力者であり、同時に社會的でなければならず、そして、その能力者であり、社會的になるに付て學ばればならぬものは書物を通じてよりはむしろ職業を通じ・實際生活を通じて取得すべきものでありませう。

ところで、今日の一般人が親も子も希望してゐる學校を中心とする課業はいはゆる學者的な學問です。いひ直せば、社會の指導者、昔なら人の上に立ち人に命令する位置に立たうとするものです

けれども、その學問は徹底せず、多くの場合、なま半可な知識の取得で終つてゐます。ですからその知識を活用することはできず、長い年月に莫大な費用をかけて大底は安月給取りになる位。が、その口さへも十分にはなく、卒業生の就職難は常に入學難と同じです

一方においては又、そのなま半可な知識が個人の範圍に止まるならば、社會のために大した害はないが、もしそれが國家的に働せられることになると、それは非常に有害なものになります。學生の社會運動がそれです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

實に入學難から就職難へと、求められもしないところへ無數の人間が押しかける。そして、はねられて憤慨したり、懊惱したり、危險思想を懷くやうになつたりする。

のみならず、求めてはねられ、求めてははねられ、實際人間として侮辱を感じつゝそんな風にして人間は生きて行かねばならぬものではないと私は考へます。

そこで、何でもかでも學校に入らねば人間になれぬかのやうに思ひ込むいはゆる學校病から目覺めて、なま半可な智者になつたり、國民を支配する位置に立たうとするのでなく、有力な生產者となり、健固な國民となることを目的とし、學校以外に學校以上の眞の學校が存在してゐることに氣付くならば、今のいはゆる中等以上の學校敎育を受ける必要はなくなります。

○

勿論、今の敎育の仕方では、中等學校を卒業しても一文明國人としての資格があぶなつかしいですから、今のまゝの小學校卒業で十分だといふのではありません。

先づ、第一に、文部省はその力の大部分を小學敎育に費して――義務年限をもつと延長して――小學校を卒業すれば一國民として、文明國民として必要な知識をほゞ獲得してゐる程度に引き上げる。そして普通の中等學校は學者になり得る資格と餘裕のある特種の學生のみが行くところとする、そして現在の中等學校の大部分を技術を敎へる學校とする。同時にこの種類の學校の數を增加する。

○

實際生活に經驗ある人は誰でも知つてゐるやうに、有力な技術者、農業家、又は、商人は、少年期からその道にたづさはつてゐなければならない。が、敎育病にかゝつてゐる結果、娘・または、子息を中等學校へ送り、技術者になることを、商人になることを、殊に農夫になることを厭ふやうになるといふのは余りにその例が澤山です。ですから今日のまゝの中等及び高等學校を增設し今日の一般希望者に滿足を與へたところが、要するにそれは、前にもいつた通り、一時的で、數年ならずしてまた同じ狀態を繰り返すのみならず、

無數の無職業者と高等遊民を製造するばかりです。國家が費した敎育費は永久に無駄になつてしまふ。

それに反して、國民として必要な普通敎育は小學校にとゞめ置き、それ以上の一般の敎育は技術を敎へる產業を敎へる、卽ち、生產的能力者を養成することを目的としたならばその費用はやがて回收してあまりあるものとなりませう、

專門家となるの外は、各人の學問は他人を卒ゐるための學問ではなく自己向上のための學問です。今後の敎育は個人の向上乃至職業の敎育であるべきで、人の上に立つための敎育であつてはならないのです。自己の職業が自己に取つては最善な學校であり、自己の經驗が自己の最善な敎育であると悟るならば、專門家になる資格と必要とを感じない以上無理に學校へ行く必要はなくなります

各人がこの點に氣付くならば、いはゆる人物本位となつて卒業證書本位は自らほろびてしまふ。

從つて入學難、就職難はかげを潛めてしまひます。

こゝに到達するやうに當局および子を持つ親は、努力しなければならないと思ひます。

## 編輯の後

モダンガールスの評判が大分惡い醜體が暴露される。が、この現象を呈するに至つた原因を唯彼女達にのみ歸するのは當を得てゐない。自由主義享樂主義及び物質主義の鼓吹が所謂モダンガールスを生んだ少くとも重要な要素であまりせう。


### 本誌臨時定價表

| | | |
|---|---|---|
| 一册 | 金十錢 | 送料五厘 |
| 六册 | 前金五十五錢 | (送料共) |
| 十二册 | 前金壹圓 | (送料共) |

▼誌代及郵税は前金の事▲御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと▼郵券代用は五厘切手にて一割增▼廣告は御照會次第御相談いたします

昭和二年四月廿三日印刷納本
昭和二年五月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區山吹町一九八
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會
振替東京五三六八八番